

ウドカズラ(ブドウ科)

Ampelopsis leoides (Maxim.) Planch.

兵庫県：Aランク

環境省：-

種の概要

大きなつる性落葉木本。枝は無毛で、皮目がある。巻きひげの先は2分する。葉は大型で、柄を含めて全長12-30cmになり、2-4対羽状に複生し、最下の羽片はさらに3出する。小葉は有柄、柄は長さ2-10mm、小葉身は卵形、楕円形ないし長楕円形、幅の狭いものもあり、長さ3-10cm、先はとがり、基部は狭くなり、縁にはまばらな低い鋸歯がある。両面とも無毛で、脈上にだけ短い毛がある。花序は大型で、短毛があり、柄がある。花は6-7月に咲き、小さくて黄緑色、径2-3mm、花床は杯形で5歯がある。花弁は5個、花の時、展開する。



写真提供：小林禧樹

国内分布

本州（近畿以西）、四国、九州

県内分布

淡路

選定理由

人為性		特殊性		学術性		
生育環境破壊	観賞用等採取	特殊生育環境	特異な生態	特殊な分布	分布の限界	希少
		○				○



特記事項

県内では1ヶ所に知られている。

保護上の留意点

自生地の保全が重要である。